

事業説明シート(概要説明書)

○事業の位置付け

事務事業名	青少年指導員活動事業	事業期間	
事業担当部・局、課、担当名	健康こども部 青少年課 青少年育成担当	予算科目	01-030105-030000
総合計画の位置付け	01 基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	対象・受益者	青少年
	01 ①<人間力>一人ひとりの心の優しさ、学が意欲、生きる力をはぐくむ		
	01 いのちを大切にすする心をもち、社会性や規範意識を身につける環境をつくる		
根拠法令(上位施策事業名)		対象者数(全住民に対する割合) 35,710人(13.8%) H26.1.1	
事業開始・継続の背景	地域における青少年の自発的活動と育成組織の推進を通じて、青少年を健全に育成することを目的に、昭和43年度に自治会(町内会)に青少年指導員の推薦を依頼したことから始めました。その後、平成10年度から社会環境浄化員が青少年指導員に統合され、2年ごとに改選され現在に至っています。		
目的・目標	青少年指導員と行政の日々の活動により、明日を担う青少年が心身ともに健やかに育成されています。		

○事業の概要、年度別事業内容、事業費

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (委託業務名と委託先) (青少年指導員地区活動委託: 青少年指導員連絡協議会)	<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助金名と補助先)		
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先)		<input type="checkbox"/> その他		
事業の概要	青少年健全育成を地域ぐるみで推進するため、地域の人材を青少年指導員に委嘱し、地域行事への協力や青少年への指導を推進するとともに、研修会等を実施することにより指導員活動を支援します。				
事業詳細	<p>青少年指導員は、小学校区単位で組織された青少年指導員協議会(地区協議会)に所属し、自治会(町内会)、子ども会育成会、体育指導員、児童委員等の青少年関係者と連携をとりながら、地域ぐるみで青少年を対象とした文化・レクリエーション活動や愛のパトロールなどの非行防止活動、有害な環境実態調査等の社会環境健全化活動等の諸活動を行っており、地域でのさまざまな活動になくはならない存在となっています。</p> <p>市としては、市青少年指導員連絡協議会に対して、青少年指導員地区活動委託料を支給し、市内28地区の青少年指導員協議会の活動を支援するとともに、市青少年指導員連絡協議会理事会、県会議等の参加者へ参加報償費を支給しています。また研修会の講師への謝礼を支払うなどにより活動を支援しています。</p> <p>青少年指導員地区活動委託料(平成25年度) = 均等割額(@79,000円×28地区) + 人数割額(@5,000円×333人)</p>				
(単位:千円)		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算見込額	平成26年度 予算額
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	299	263		350
	起債				
	その他 特財 一般財源	4,669	4,767		4,564
事業費(A)		4,968	5,030	4,650	4,914
内訳	職員(人)	0.62	0.50	0.40	0.53
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費(B)		5,025	4,008	3,180	4,141
フルコスト(A+B)		9,993	9,038	7,830	9,055
事業費内訳(平成25年度)		<p>委託料 青少年指導員地区活動委託料 3,877,000円 報償費 会議等参加謝礼、研修会講師謝礼 728,738円 旅費 県青少年連絡協議会総会参加費 2,280円 需用費 42,317円〔(消耗品)青指だより用紙代他 41,777円、(食糧費)研修会講師食事代 540円〕</p> <p>※市が行う青少年指導員活動事業に対して県から「市町村青少年行政推進費補助金」266,000円が支給されました。</p>			

○事業の実績

指標設定理由等	市は、青少年指導員が地域活動の課題を協議し、情報交換や研修会で得た知識を各地区に持ち帰り、各地区の活動に活かすことを目的に、青少年指導員連絡協議会の総会や理事会を開催し、理事会や総会の開催回数を活動指標にしています。また、その結果として青少年指導員の活動がどの程度実施されたかを計る指標として、活動率を成果指標としています。					
活動指標①	指標名	理事会・総会開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	7	6	7	6	
	実績	7	6	7		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	青少年指導員の活動率			単位	%
	説明・算定式	(実際にイベント等で活動した期間(月を上中下旬に3区分した期間)の数 ÷ (12か月×3期間×28地区)) × 100				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	75	75	75	75	
	実績	74.3	79.7	77.9		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
上記以外の成果						
平成25年度の主な取組と成果						
理事会5回、総会2回、研修会を2回開催しました。その他各地区で青少年健全育成のための行事等を開催し、青少年健全育成の取組みを地域ぐるみで推進しました。						

○事業分析

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	県を中心に各市に同様の制度があり、市が関与することで連絡体制も円滑化されており、今後も事業を継続して行う必要があります。	●高 ○低
	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	青少年指導員の活動は、次世代育成や環境浄化に非常に効果があり、子ども大会や成人式等の青少年育成事業の運営にも欠かせない存在となっていることから、有効性は高いと思われます。	●高 ○低
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	本市の青少年指導員の人数は、他の自治体に比べるとやや多いが、地区ごとに行う事業の規模や役員にかかる負担を考慮すると、事業内容は妥当であると思われます。	●高 ○中 ○低
	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	青少年指導員の活動は基本的にボランティアであり、地域に居住する大人の中から選出されているため地域内の事情にも通じ、少ない予算の中で地域の青少年育成に貢献していることから、妥当性は高いと思われます。	●高 ○中 ○低
今後に向けた課題の分析、課題に対する考え方			
青少年指導員のなり手不足への対応や各地区の活動を考慮した青少年指導員の数の見直し等について、青少年指導員連絡協議会等の意見を聞きながら、検討していく必要があります。			

○次年度以降の取組

平成27年度の取組方針

各地区代表で構成される理事会での意見交換を活性化させること等、地区活動が円滑に進むよう取り組みます。

○参考資料

比較参考値(他自治体での類似事業の例など)

	身分	委嘱数 (H26.5)	選出方法	関連予算 (H26) (千円)
平塚市	有償ボランティア	333人	連合自治会長	4,914
横須賀市	非常勤特別職	156人	連合町内会長推薦	5,235
相模原市	非常勤特別職	228人	公民館長、保健福祉課長が推薦	16,543
藤沢市	非常勤特別職	212人	青少年育成協力会、小中学校PTA推薦	15,756
厚木市	非常勤特別職	109人	公民館長推薦	5,024
茅ヶ崎市	非常勤職員	90人	小学校区青少年育成推進協議会長推薦	4,561
小田原市	非常勤特別職	119人	自治会、市長推薦	7,088

平塚市の類似・関連事業(同一目的事業等)